

# 地域の声を聴き届けそして形に



自治振興会長と共に、令和4年度の地域課題要望を直接藤井市長に届ける！



地域の声から実現した五福小学校跡地の「五福芝生スポーツ広場」



1期工事終了し、2期工事工事中の富山市立西部中学校

## 《現在の役職》

### 【富山市議会関係】

建設委員会 委員長  
議会運営委員会 委員  
政務活動費のあり方検討会 委員

### 【富山市議会自民党関係】

筆頭副幹事長 会計責任者

### 【その他】

富山県立呉羽高等学校 同窓会 副会長  
富山県立富山南高等学校 P T A 会長  
五福自治振興会 顧問  
五福ふるさとづくり推進協議会 顧問  
国立大学法人富山大学 倫理委員会 委員  
同上 臨床研究審査委員会 委員  
富山市消防団五福分団 団員  
富山西交通安全協会五福支部 庶務担当  
五福地区防犯協会 参与  
富山市第五地区体育協会 顧問  
富山市立五福小学校 教育後援会 顧問  
富山市立西部中学校 教育後援会 顧問  
呉羽山観光協会 参与  
悠久の森実行委員会 顧問



総務副大臣室にて 田畑裕明氏とともに



建設委員会 委員長として会議に望む

# 地域の絆で創る思いやり溢れる未来へ

## KIZUNA NEWS

地域の絆ニュースVol.4

かなたに幸則市政報告



令和3年4月藤井新市長が誕生し、私も新しいメンバーと共に2期目の任期がスタートしました。多くの先輩方が引退され私もいつの間にか新人から中堅議員となりました。

令和3年度は建設委員会副委員長、そして4年度は建設委員長という重責を担うこととなり身の引き締まる思いです。「より住民の皆様の声を聴き届け、そして形に変えていく。」このことを胸に頑張っていきたいと思えます。

また、今年自民党会派がそれぞれの富山市政に対する考え方の違いから2つに分かれました。私は16名の同志と共に「富山市議会自由民主党」に所属しており、富山市議会の最大会派として、これからも市政運営に重要な立場で仕事をしていきたいと思えます。

2期目の任期も「地域の絆」を大切に誇れるまち富山の創造に向かって全身全霊で邁進していく決意ですので、今後ともご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

金谷幸則 拝

## 3 Vision & Mission 任期2期目を迎え、「地域の絆」を大切に誇れるまち富山を創造する3つのビジョン

### I.ひとづくりビジョン

すべての人がいきいきと輝くまちを目指して!

<3つのミッション>

- 学校教育の充実と家庭・地域教育の推進
- 魅力ある文化・芸術・生涯学習 充実の推進
- スポーツ・レクリエーション 活動の推進

### II.ものづくりビジョン

新たな価値を創り活気に溢れるまちを目指して!

<3つのミッション>

- 5GやAI時代への新たな産業づくりの推進
- 今よりもいい未来のためのSDGsの推進
- 強い農林水産業ととやまブランドの推進

### III.まちづくりビジョン

持続可能な誇れるまちを目指して!

<3つのミッション>

- 安心安全な地域社会の推進
- コンパクトなまちづくりの推進
- 選ばれるまちとやまの推進

日々の活動をリアルタイムにお届けしています。  
あなたの声を 市政に届けます。



facebook



Twitter



Instagram



LINE



発行人：富山市議会議員 金谷幸則  
〒930-0887 富山市五福4548 TEL076-411-9555 FAX076-442-1119  
e-mail : info@kanatani-yukinori.jp  
<https://kanatani-yukinori.jp/>



是非お友達登録お願いします!  
金谷幸則に直接ご意見をお寄せいただけます。

# 任期2期目のビジョン実現に向けて、藤井市長と直接議論!!

## ひとづくりビジョン

すべての人がいきいきと輝くまちを目指して!

令和3年6月定例会

## 地域主導の学校環境づくりの推進 教育は、地域の力が加わってこそ子供たちを大きく成長させる。

**Q** 最重要政策テーマの中の1つであります「子どもたちがいきいきと学べる地域主導の学校環境づくりの推進」について市長の見解はどうか。

**A** 藤井市長 このたびの富山市長選挙に立候補するにあたり、私の最重要政策テーマとして、議員のおっしゃるとおり、次世代を担う人材を育成するための「ひとづくり日本一とやま」というものを掲げさせてもらった。「子どもたちがいきいきと学べる地域主導の学校環境づくりの推進」は、その各論に当たる重要テーマである。

制度上、教育行政につきましては、本来、教育委員会の専権事項であることは十分承知しておりますが、市を代表する者として、若干の個人的な思いを申し上げます。

個人や社会の価値観が多様化、複雑化する現在ですが、学校にはこれまで以上に子どもたち一人一人に対応した個別具体の教育が求められているということだと思う。

このような状況を受けて、子どもたちにこれからの時代を生き抜く資質・能力を身につけていただくためには、私自身、学校内部の組織力だけでなく、地域住民や保護者の学校運営への参画が必要不可欠だということに常日頃感じている。

私はこれまで、地元の神保小学校のPTAを皮切りに、地元の中学校、そして高校3校でのPTA活動を



行ってまいりました。また、平成21年度、平成22年度の2か年にわたって、議員のおっしゃるとおり、富山市PTA連絡協議会の会長を務めさせていただいた。そのときには、金谷議員と共に富山市の子どもたちのために一緒に汗を流してきた。この期間、私が肌で感じてきたことは、学校という組織は、校長をはじめとした教職員の力はもちろん大きいものでありますが、その力に地域の力が加わってこそ子どもたちを大きく成長させることができるということである。

《中略》

昨今、教員の働き方についての議論もされているところではありますが、地域の力を活用した部活動指導や外部指導員は、生徒にとっても学校にとっても非常に効果的なことだというふうを考えている。

加えて、今年の冬は近年まれに見る大雪でありました。除雪はなかなか進まず、車の擦れ違いさえも難しい状況でありましたが、子どもたちが通学する通学路だけは、どういうわけかいつも地面が見えていて、そういう中で、子どもたちは安全に登校ができた。地域の方々が開けてくださったということではありますが、こういうことも通じて、子どもたちは地域への感謝を感じながら育っていくのだというふうに思っている。

この議場の議員さんの中にも、今回の大雪に関しては、私的に毎日除雪に赴いたという方がたくさんおられることも地域の皆さんから聞いている。

このほかにも、地域と学校が共に子どもの成長のために活動した例は枚挙にいとまがない。

あらゆる地域において、子どもたちを思う住民の愛情に満ちた数々の活動に支えられ、子どもたちは日々成長するものだということに感じている。

私の目指すところは、今申し上げましたように、学校、家庭、地域社会が一体となって未来を担う子どもたちの教育を進めていくことであり、このような地域主導の学校環境の実現に向けて、教育委員会と共にこれからも頑張っていきたいと思う。

## まちづくりビジョン

持続可能な誇れるまちを目指して!

令和3年9月定例会

## コンパクトシティ実現に向けた3つの施策

**Q** 今後コンパクトシティを深化していく際には、中心市街地、公共交通沿線居住推進地区、そしてその他の地域それぞれの地域課題にしっかり向き合って、それぞれの処方箋が必要で今後、民間の協力・連携が大変重要になってくると考えるが、藤井市長の見解を問う。

**A** 藤井市長 人口減少や超高齢社会への対応、ひいては持続可能な活力あるまちづくりの実現のため、コンパクトシティ政策を継承し、さらに深化させていくということが非常に大事だと思っている。

そのためには、1つには、郊外にある拠点や域内におけるコミュニティバス、デマンドタクシーの運行のほか、ボランティア輸送の新たな導入など二次交通等のサービスの充実、2つには、オンライン申請などの行政手続における市民や事業者の利便性の向上や事務の効率化など、いわゆる行政のデジタル化の一層の推進、そして3つには、AIやIoTなどを活用した富山市版スマートシティの構築に向けた取組などを通して、暮らしの利便性、そして安全性を高めるとともに、市民一人一人の生活の質の向上を図り、議員からも貴重な意見をいただきましたので大いに参考にしながら、コンパクトシティ政策の果実がこれから全市に行き渡るように努めてまいりたいと思う。



## ものづくりビジョン

新たな価値と活気溢れるまちを目指して!

令和4年3月定例会

## 「ものづくり」政策で重要な民間企業・県との連携

**Q** 今後の富山の「ものづくり」政策について、私は民間企業や県との連携がさらに必要ではないかと考えます。藤井市長の稼げる未来～豊かさ日本一富山～に向けて富山の「ものづくり」政策について藤井市長の見解を問う。

**A** 藤井市長 ものづくり政策における連携では、商工業分野は、企業立地助成制度を設け、工場の新増設や用地、設備を取得する際に助成額の2分の1を県と市が負担し補助を行っている。

さらに、県主催のとやま創業支援連携会議に本市も参加し、県や経済団体と連携して創業の機運醸成に向けた施策の検討を進めている。

一方、農業分野につきましては、国において農林水産物・食品輸出額を2030年に5兆円とする目標が掲げられる中、今後、県と連携し市内産農林水産物の輸出拡大に取り組んでいく。

「ワンチームとやま」連携推進本部会議において令和4年度の連携推進項目として位置づけられた農林水産物等の輸出共同プロモーションに取り組んでいく。

また、林業の分野におきましては、樹木を伐採した際に発生する枝をバイオマス発電の燃料として利用することで林業の採算性の向上を図る取組が進められている。県や民間企業などで構成するコンソーシアムを立ち上げ、実証実験に取り組む予定である。

今後とも、県をはじめ、経済団体や農業団体などと連携し、豊富な電力や水資源、勤勉な労働力に加え、田園地帯が広がる郊外、あるいは中山間地域などの豊かな自然環境を生かし、「稼げる未来!～豊かさ日本一とやま」の実現に向け、富山のものづくりを支える事業者の支援に努め、活力ある地域経済の基盤づくりに取り組んでまいります。

なお、議員御指摘のとおり、私も地域にとって安定した雇用があるということは安心・安全な生活につながる基盤であるというふうに心得ておりますのでこの施策等々にしっかりと取り組みたいと思っている。